

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランとは？

「第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画」において、重点施策の一つとして位置付けている「乳幼児期における教育・保育の質の向上」のために、目指す乳幼児の姿や施策の方向性を関係者が共有し、より一層の質の向上を図るために策定したものです。

第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画 基本理念 つながる つなげる 育ちあいのまちづくり

○アクションプランの位置付け

「第五次東広島市総合計画」に基づく個別計画である「第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画」の下位計画

○計画期間 令和3年度～令和6年度（4年間）

1 目指す乳幼児の姿

とことんあそび 豊かに育つ こころとからだ

子どもを取り巻くすべての人たちの連帯により、子どもの健やかな成長を支え、共に育つ「つながる つなげる 育ちあいのまちづくり」の基本理念を基に、目指す乳幼児の姿を定めました。

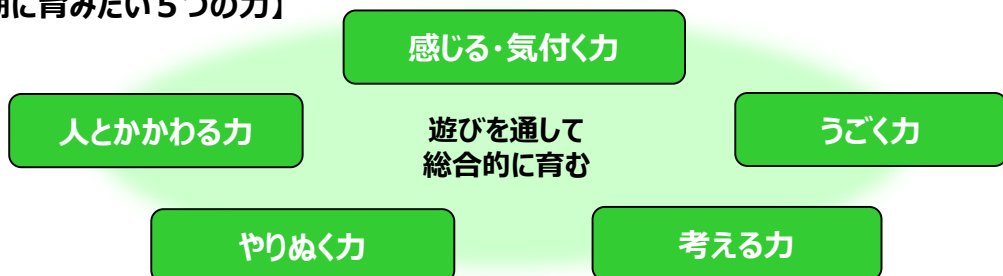
人間形成の基盤となる乳幼児期に、子どもが興味・関心を持ち、とことん遊びこむことで、「身の周りのことから感じ取る力」や「人とのかかわる力」、「困難を乗り越える力」、「自分の体の身のこなし方」、「考える力」などの力が育まれます。これがいわゆる「乳幼児期に育みたい5つの力」※です。

目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力は、遊びを通してこそ培われるのです。まさに「遊び」は「学び」です。

本市では子どもたちの遊びや活動の深まりを支えながら、育ちを見守ります。



【乳幼児期に育みたい5つの力】



2 プランの基本目標

基本目標

1

ともに育つ地域をつくる（関係者との理解の共有・連携の促進）

教育・保育内容の見える化を進め、関係者が子ども観を共有するとともに、核となる人材の育成により、連携・連帯を促進します。また、保護者や地域住民とのつながりの中で、地域資源を活用しながら、一人一人が生きがいと役割を持って参画する地域共生による子育て支援を推進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。

基本目標

2

みんなで育つ（施設における教育・保育実践の充実）

日々の教育・保育実践の充実を図るため、外部アドバイザーの助言等を活用し、園内での遊びを通じて、子どもの豊かなこころとからだを育めるよう、保育室や園庭等の環境づくりに取り組みます。

基本目標

3

学び合う風土をつくる（職員間の相互理解・協働）

園内研修の充実等により職員同士が保育観・子ども観を共有し、互いに学び合う関係性を構築するため、施設長のマネジメント力強化等に取り組み、学び合う組織風土を醸成します。

基本目標

4

個をみがく（職員の資質・専門性の向上）

キャリアアップ研修機会の拡大や往還型による研修の実施等、実践に結び付くよう研修の内容を充実させることにより、職員個々のスキルアップを図り、教育・保育者としての資質・専門性を向上させ、情報発信できるように取り組みます。



3 目標達成に向けた主な取組み（1）

取組み	内容	基本目標との関連			
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく
<u>5つの力を育む魅力ある保育環境づくり</u>	○外部アドバイザーの助言等を活用し、保育室や園庭等のよりよい環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。 ○保護者や地域の協力も得ながら保育環境づくりを進めることにより、地域共生による子育て支援を促進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。 ○保育環境づくりを通じて、職員間のコミュニケーションを促すとともに、子どもを主体とした保育・教育を語り合う気運を醸成します。 ＜目指す姿＞ 5つの力を育む環境づくりが全施設の約6割で実施されています。 (R2) 未実施 ⇒ (R6) 37施設	○	○	○	
<u>自然保育の推進</u>	○園内だけではなく、地域全体を教育・保育の実践の場として捉え、地域との協働も視野に入れ、本市ならではの豊かな自然を活用した保育を推進します。 ○広島県の「ひろしま自然保育認証制度」も活用し、自然保育の取組みが広がるよう啓発を行います。 ＜目指す姿＞ 全市域にひろしま自然保育認証制度による認証施設があります。 (R2) 5施設 ⇒ (R6) 15施設	○	○		
<u>公開保育の充実</u>	○公開保育を通して、施設での教育・保育実践のレベルアップを図ります。 ○多様な関係者が参画することで、公開保育がつながりの場となるように取組みを進めます。 ＜目指す姿＞ 全市域で公開保育が実施されています。 (R2) 4地域 ⇒ (R6) 9地域	○	○		○
<u>保育コーディネーター※の育成・連携</u>	○専門機関や外部との連携において重要な役割を果たす保育コーディネーターを育成するとともに、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。 ○外部との連携だけではなく、園内における学び合いの風土づくりや職員間の連携についても保育コーディネーターの役割として位置付け、育成・連携を図ります。 ＜目指す姿＞ 全施設へ保育コーディネーターが配置され連携が強化されています。 (R2) 52施設 ⇒ (R6) 全62施設に配置	○		○	○

※保育コーディネーター：教育・保育の場、子育て支援の場、地域において、就学前の子どもや家庭が抱える課題に的確に対応し、解決に向けた取組みを行う中心的な役割を担う人材であり、東広島市独自の認定制度です。



3 目標達成に向けた主な取組み（2）

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援します

取組み	内容	基本目標との関連			
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく
子育てサポート 研修の改編	○キャリアアップ研修の充実により、専門性の向上と、職員の処遇改善につなげます。 ○広島県や広島県保育連盟連合会等が開催する研修も併せて活用することで、キャリアや目的に応じた内容が受講できる環境を整えます。 ＜目指す姿＞ 市内で開催するキャリアアップ研修の充実 (R2) 1コース ⇒ (R6) 5コース				○
幼保小の連携	○公開保育・授業への相互参加や、合同研修等を通して連携を促進し、子どもの発達と学びの連続性について、円滑な接続を図ります。 ○小学校就学に際し、常時連携が取れるような仕組みづくりを検討します。 ＜目指す姿＞ 全小学校区で、幼保小接続カリキュラムの編成・実施が行われています。 (R1)38施設でアプローチカリキュラム編成 ⇒ (R6) 全59施設でカリキュラム編成・実践	○			○
施設長研修	○対話による語り合いによってお互いを高める組織文化や、マネジメントの重要性について、施設長研修を実施し、組織としての力を高めています。 ＜目指す姿＞ 施設長のマネジメント力が向上し、学び合う組織文化が醸成されています。 (R2) 未実施 ⇒ (R6) 全62施設の研修参加			○	○
積極的な 情報発信	○各施設が自らの「よさ」を発見し、ホームページ等を通じて積極的に情報発信していきます。 ○情報発信を行うことにより、より良い教育・保育や子育ての在り方を保護者や地域と共に考える機会とし、保護者の子育て力向上や、地域共生による子育て支援をします。 ＜目指す姿＞ 全施設でホームページ等による教育・保育の見える化が図られています。 (R2) 29施設 ⇒ (R6) 全62施設	○	○	○	○
取組み内容 の評価	○保護者アンケートを実施し、その結果を公表することにより教育・保育の見える化を推進します。 ○職員や外部アドバイザー等による評価を行い、取組み内容の改善を図っていきます。 ＜目指す姿＞ 様々な取組みを評価する手法が確立され、PDCAサイクルが回っています。 (R2) 未実施 ⇒ (R6) 評価方法の確立・運用	○	○	○	○

